

市中心部におけるにぎわいの更なる創出・向上に向けて

1 趣旨

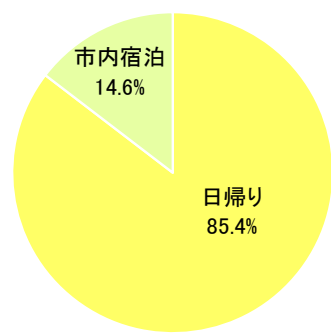
大和ミュージアムなどが立地する宝町エリアへの多くの観光来訪者を、日本遺産を構成する文化財が集積する幸町エリアや潜水艦等を間近で見ることができるアレイからすこじまエリア、中央地区商店街が立地する本通・中通エリアに迎え入れるための施策を展開することにより、市中心部におけるにぎわいの更なる創出・向上を図っていきます。

2 現状及び課題

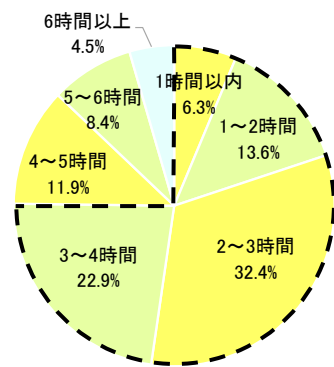
(1) 来訪者の動向

ア 来訪者の滞在時間は、日帰りが多く、日帰り観光客の4分の3が4時間未満の滞在となっているなど短い状況にあります。また、呉市への来訪は初めてという方が多い一方で、5回以上訪れている方も2割程度おられるなど、リピーターも多く見られます。

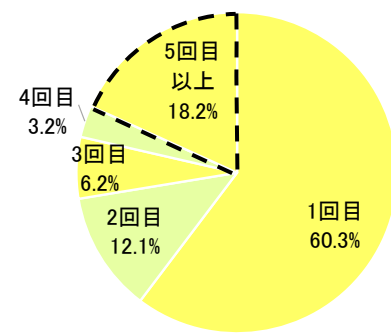
図表1 来訪者の市内宿泊状況



図表2 日帰り観光客の市内滞在時間

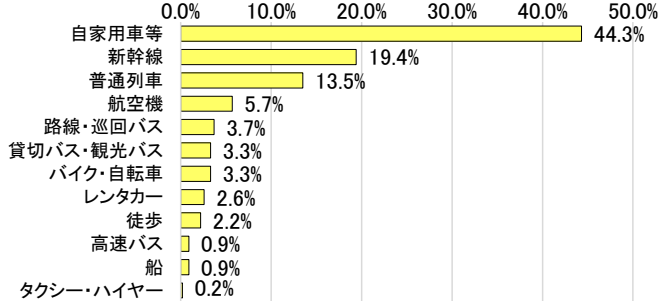


図表3 来訪回数

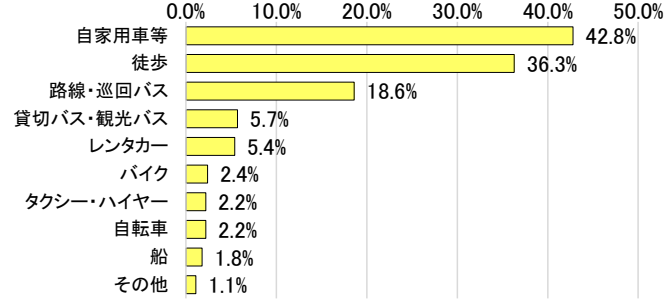


イ 自家用車等で観光地を訪れる割合は全国平均で5割程度とされていますが、来訪者の呉市への交通手段は、自家用車等、公共交通機関とも4割程度となっています。

図表4 呉市への主な交通手段

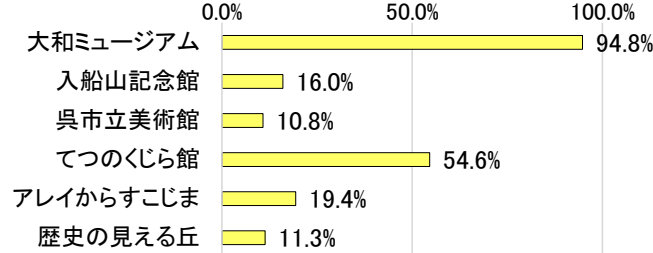


図表5 市内での利用交通機関

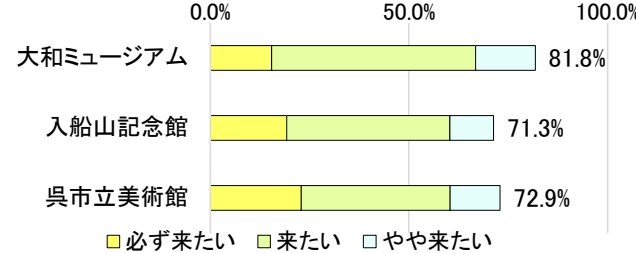


ウ 来訪者の訪問予定スポットは、大和ミュージアムの割合が高く、入船山記念館や呉市立美術館の割合は低くなっていますが、再来訪意向はいずれも7割を超えています。

図表6 訪問予定の観光スポット



図表7 観光スポットの再来訪意向

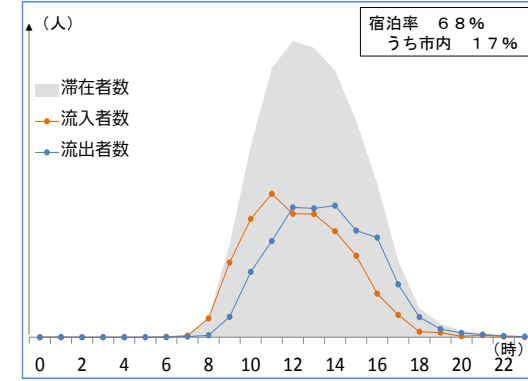


エ 呉市の「食」に対する認知度は、呉海自カレーが最も高くなっています。
第1位：呉海自カレー (43%) 第2位：かき (17%) 第3位：お好み焼 (10%)

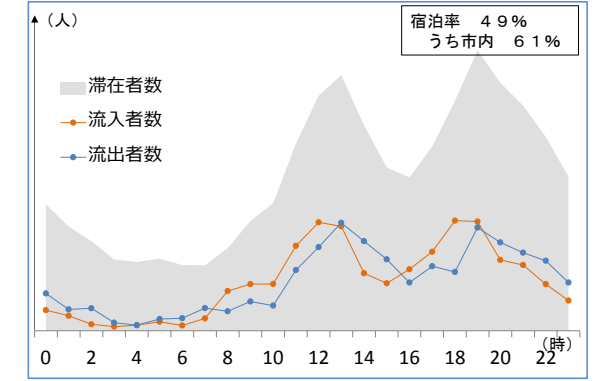
(2) 宿泊の動向

ア 訪問スポット別の宿泊動向を見ると、大和ミュージアムに30分以上滞在した来訪者の宿泊率は約7割と高いものの、そのうち市内宿泊率は2割弱にとどまっています。一方、れんがどおりに30分以上滞在した来訪者の宿泊率は約5割で、うち6割は市内に宿泊しています。

図表8 大和ミュージアムの滞在傾向と宿泊率

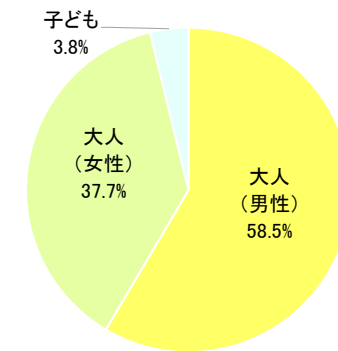


図表9 れんがどおりの滞在傾向と宿泊率

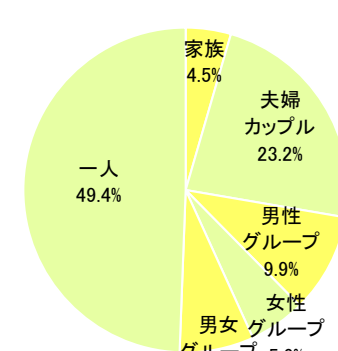


イ 市内宿泊傾向を見ると、男性が多く、また半数近くが一人での宿泊となっています。

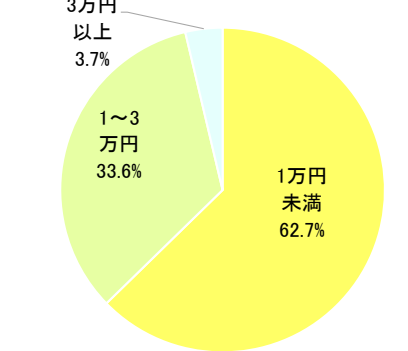
図表10 宿泊傾向 (男女別)



図表11 宿泊傾向 (形態別)



図表12 宿泊傾向 (宿泊単価別)



ウ 市内宿泊施設の状態を見ると、平成27年においては適正宿泊数(稼働率75%)に対して客室数が年間1.1万泊(1日当たり31泊)程度不足している状況となっています。

にぎわいの更なる向上により今後宿泊者数が15%増加した場合には、適正宿泊数に対して年間3.7万泊(1日当たり100泊)の客室数の不足が見込まれます。

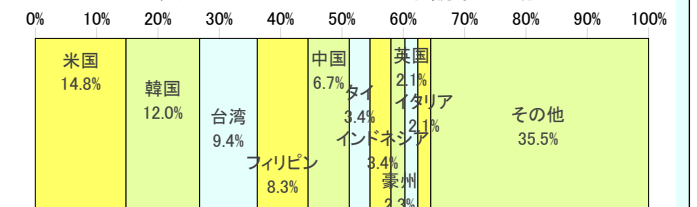
図表13 宿泊施設の過不足数見込み

区分	宿泊数	適正宿泊数	年間過不足数	1日当たり過不足数
平成27年	17.0万泊	15.9万泊	▲1.1万泊	▲31泊
(15%増加)	19.6万泊	15.9万泊	▲3.7万泊	▲100泊

(3) インバウンド来訪者の動向

平成27年における呉市へのインバウンド来訪者は約5.1万人で、居住国別に見ると、米国、韓国、台湾、フィリピン、中国の順になっています。

図表14 インバウンド来訪者の動向



3 今後の方向性

(1) 調査結果を踏まえた施策展開の視点

ア 来訪者の動向を踏まえた視点

自家用車等で訪れる家族連れの来訪者から、ビジネスで来訪し観光スポットを巡る来訪者、さらにはリピーター層に至るまで、**幅広い客層を想定した周遊滞在メニュー**を企画立案する必要があります。

そのためには、観光スポットの更なる魅力向上を図るための整備（ハード・ソフト）を推進するとともに、食を含めた特色ある資源の積極的な情報発信が不可欠です。

イ 宿泊動向を踏まえた視点

今後、市中心部におけるにぎわいの更なる創出・向上を図ることにより、市内宿泊者数の増加が見込まれることから、**宿泊機能の強化・充実**を図る必要があります。

そのためには、宿泊施設の現状についてより詳細な調査を行うとともに、夜型観光イベントの企画等を含め、滞在型観光施策についての十分な検討が不可欠です。

ウ インバウンド来訪者の動向を踏まえた視点

今後、台湾（基隆市）との交流促進や、東京オリンピック・パラリンピックの開催などを背景として、インバウンド来訪者の増加が見込まれることから、**受入環境を整える**必要があります。

そのためには、観光関連団体と行政の情報共有や受入態勢を充実させるとともに、インバウンド来訪者が安全・安心・快適に周遊・滞在することができるような環境整備（ハード・ソフト）が不可欠です。

(2) 呉市の観光に関する強みと弱み、社会情勢の変化

ア 強み

- (ア) 旧海軍鎮守府の歴史・文化
- (イ) 海上自衛隊の存在
- (ウ) 戦艦大和のふるさと
- (エ) 独自の食文化
- (オ) 交通アクセスの良さ
- (カ) 呉の魅力的な景観

イ 弱み

- (ア) 大和ミュージアム以外の観光施設の認知度の低さ
- (イ) 特色ある地域資源の発信力の弱さ
- (ウ) 市内滞在時間の短さ（回遊性の低さ）
- (エ) 観光関連団体との連携の弱さ
- (オ) 地域の魅力に対する市民意識の低さ
- (カ) 女性向けの観光メニューの少なさ
- (キ) 宿泊施設の不足

ウ 社会情勢の変化

- (ア) 観光旅行の個人化・少人数化
- (イ) 観光ニーズの多様化
- (ウ) 訪日外国人来訪者の急増
- (エ) 日本遺産の認定
- (オ) ミシュラン・グリーンガイドでの評価
- (カ) 艦船をテーマにしたアニメやゲームの普及

(3) 今後の施策展開の方向

ア 観光拠点の整備

～拠点回遊させるための魅力づくり～

- (ア) 観光施設のブラッシュアップ
- (イ) 情報発信の強化（ICT活用）
- (ウ) 桜松館を活用した集客施設（飲食・物販）の整備
- (エ) 呉の食が一堂に会したにぎわいエリアの整備
- (オ) ウォーターフロントを活かした交流拠点の整備
- (カ) 呉駅周辺地区の整備

イ まちあるきに向けた整備

～市内回遊させるための仕掛けづくり～

- (ア) シャトルバス・海上交通の整備
- (イ) 堺川周辺の魅力づくり
- (ウ) まちあるきツアーの造成（日本遺産、夜型観光等）
- (エ) サイン整備、ICT活用によるまちあるきの誘導
- (オ) 歩いてみたくなる回遊ルート・スポットの形成

ウ 官民連携による観光資源の整備

～オール呉体制によるおもてなしの仕組みづくり～

- (ア) 食の文化・歴史の発信
- (イ) 訪日外国人来訪者の受入環境整備
- (ウ) 商業・観光関連事業の奨励
- (エ) 観光関連団体との連携強化（DMOの設立）
- (オ) 宿泊機能の強化

(注) 二重下線を付した事業は、先行して取り組む最重要事業
→ 次項参照

4 先行して取り組む最重要事業

市中心部におけるにぎわいの更なる創出・向上に向けて、次に掲げる取組を最重要事業として先行して取り組みます（具体的な取組方針については、今年度策定する基本計画の中で検討）。なお、事業の推進に当たっては、財政見通しとの連動を図るとともに、呉駅前地区の再整備及び旧そごうの跡地活用に向けた検討とも十分な連携を図っていきます。

(1) 集客施設の整備

幸町地区に立地する海上自衛隊呉集会所を取得し、桜松館については、にぎわいの拠点となる新たな集客施設を整備します。

また、旧青山クラブについては、将来的な大和ミュージアム関連施設の整備を視野に入れながら、その部分的な保存や外観イメージの再現、記念碑（モニュメント）の設置の可能性について、併せて検討します。

【イメージ】

- 生演奏やパフォーマンスを楽しむことができる空間（レストラン、カフェ）の整備
- 呉市の特産品（かき、タチウオ、レモンなど）を用いたメニューの開発・提供
- 特色ある呉市の地域資源の発信・販売 など

図表 15 桜松館の整備イメージ



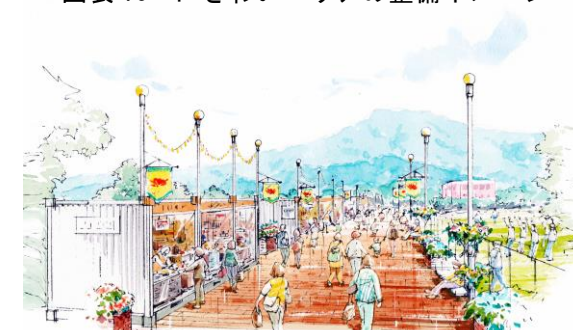
(2) 回遊ルートの形成

多くの観光来訪者が宝町地区から幸町地区、アレイからすこじま地区、本通・中通地区等へと回遊しやすい周遊動線を形成します。

【イメージ】

- 呉の食が一堂に会したにぎわいエリアの整備（海軍グルメ、スイーツ、酒等）
- 屋外アートの設置（オブジェ・壁画等）
- 写真・動画撮影スポットの設置（SNS等への投稿促進）
- ICTを活用した観光アプリ等の整備 など

図表 16 にぎわいエリアの整備イメージ



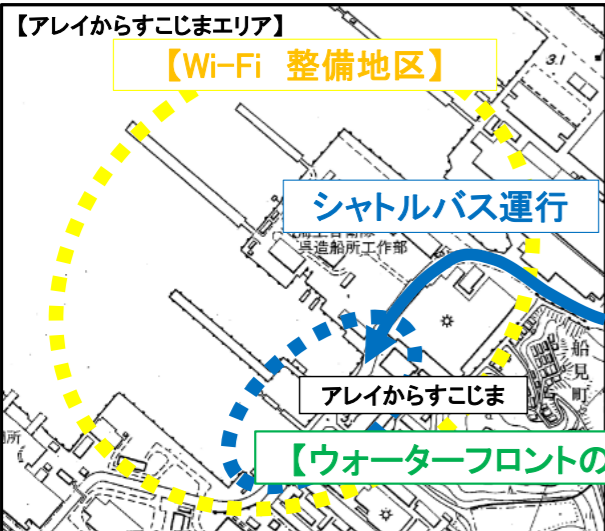
【まちあるきツアーの造成】
呉駅、主要観光スポットを
起点にした日中、夕方以降
の定期ツアーの開催



【まちあるきの誘導, アプリ
との連動】
多言語案内版の設置, ス
マートフォンアプリとの連携



【ICTツールの活用】
VR技術(スマートフォンで映像を見るこ
とができる仕組み)の活用



【堺川周辺の魅力づくり】
イルミネーションの活用やカフェの設置による, まちなか誘導, 休憩所の設置



【整備イメージ】 呉の食が一堂に
味わえる“にぎわいエリア”の整備



【本通中通の環境整備】
わかりやすい案内表示

【呉駅周辺地区整備】
回遊発着点にふさわ
しい環境整備

ペDESTリアンデッキの再整備

“にぎわいエリア”
の整備

【旧青山クラブの整備】
当面観光用駐車場として整備
将来的に大和ミュージアムの関
連施設整備を検討

【整備イメージ】 桜松館(内部)



【大和ミュージアム周辺の整備】
ウォーターフロントを活かした交
流の創出

教育隊周辺道路の壁面等整備

【桜松館の活用】

【整備イメージ】 桜松館(外観)



【入船山公園の再整備】
入船山文化ゾーンにふさ
わしい環境整備

シャトルバス運行

海上交通の整備



【歴史の見える丘】
駐車場等の整備

- その他
- ① SNSやホームページを活用した情報発信とWi-Fi環境の整備
 - ② 出店奨励制度の充実
まちのにぎわいを目指した施策
 - ③ 宿泊施設の整備
国内外観光客の受入拡大に備えた施策
 - ④ 受入態勢の整備(DMO設立)
観光関係者との共有の場